

令和7年度

一般入学試験問題  
(特別進学科)

国 語

2月3日(月)

注 意

- 1 監督の先生から、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 この問題とは別に1枚の解答用紙があります。
- 3 問題用紙と解答用紙両方のきめられた欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 **解答用紙の受験生シール貼付欄にシールを貼り付けなさい。**
- 5 机の上には、受験票・受験生シール・鉛筆・鉛筆けずり・シャープペンシル・消しゴム・定規以外のものをおいてはいけません。  
下敷きは、監督の先生の許可を受けてから使用しなさい。
- 6 筆記用具などの貸し借りをしてはいけません。
- 7 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 8 印刷が悪くてわからないときや、筆記用具などを落としたときなどは、だまって手をあげて、監督の先生に知らせなさい。
- 9 監督の先生の「止め」という合図があったら、すぐに止めなさい。

答えの書き方

- 1 問題をよく読んでから答えなさい。答えは、すべて鉛筆またはシャープペンシルで解答用紙に記入しなさい。色鉛筆を使ってはいけません。
- 2 答えは、はっきりとていねいに書きなさい。なおすときは、きれいに消してから新しい答えを書きなさい。
- 3 メモには、問題用紙の空白を利用しなさい。

受験番号	
------	--

一、次の【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】は、川添愛の『世にもあいまいなことばの秘密』の一部である。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

【注】

- 1…露骨な表現にならないように、遠まわしに言うさま。
- 2…上演する目的で書かれた演劇の脚本。
- 3…同音を利用して、一語に二つ以上の意味を持たせたもの。
- 4…宇宙間に存在するすべてのもの。

問一 傍線の部分㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚のカタカナを漢字に直して書きなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、それはなぜですか。五十字以内で説明しなさい。

問三 傍線の部分②のあとに続く文章で筆者は次のように書いています。これを読んで、後の【問い】に答えなさい。

文章

実は私も先日、急に話を変えて話し相手を混乱させてしまいました。前の晩に見た夢の話をしようとして、「昨日、仕事で大失敗した夢を見た」という言い方をしたため、途中まで聞いた相手に「え！仕事で大失敗したの？」と心配されてしまったのです。

【問い】 この文章の中で相手に誤解されないようにするには、どのように言うべきでしたか。自身で考えて答えなさい。

問四 【文章Ⅱ】における「プティデペ」と「日本語」の違いについて説明した文章の空欄AとBにあてはまる文章をそれぞれ三十字以内で答えなさい。

説明

「ブテイデペ」は、「一つの単語に一つの意味」を徹底するため、A ことで、多くの混乱を引き起こす。それに対して「日本語」は、言葉が複数の解釈を持つことで、B ようになるという利点がある。

問五 Aさんのクラスでは、【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】の読み比べをして、それぞれの生徒が気づいたことをクラスで発表することになりました。

次に示す生徒たちの発表の中で【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】を正しく踏まえたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生徒A——【文章Ⅰ】では言葉のあやふやさについて、「悪用される」ことや「誤解が生まれやすくなる」ことなど、曖昧さをマイナスでも捉えて述べられていたけれど、【文章Ⅱ】では、その言葉のあやふやさこそが会話をする上でプラスになり得ることや、楽しい言葉遊びを生むことにつながると述べていました。

イ 生徒B——【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】ともに言葉の曖昧さの悪い点だけ述べられているけれど、【文章Ⅰ】では主に文法に焦点を当てて悪用された例を用いて説明されていたのに対し、【文章Ⅱ】では、ブテイデペという人工言語に話題を変えて、言葉のもつ曖昧さが我々人間にもたらす悪影響について述べられていました。

ウ 生徒C——【文章Ⅰ】では、私たちは会話をするとき、文脈に応じて常に先読みすることを重視していることから、それを逆手にとった犯罪について紹介し、【文章Ⅱ】では外国語と日本語の比較から、いかに日本語が曖昧で習得しにくい言語であるかということを書き手の実体験をもとに分かりやすく述べられていました。

エ 生徒D——【文章Ⅰ】も【文章Ⅱ】も言葉のあやふやさだからこそ良い面しかないという視点で書かれていました。その中で、それぞれメリットとなる具体例を挙げて【文章Ⅰ】では文脈で理解できることを【文章Ⅱ】では掛詞や駄洒落などの言葉遊びが楽しさや面白さをもたらすものとして説明されていました。

二、「私（由舞）」と椎太の小学校五年のクラスには、いつも一人でいる極度におとなしい中村がいた。ほかの子からは話しかけられない中で、椎太だけは毎日のように中村に声をかけていた。六年生でも同じクラスになった春、担任の先生から中村は「キ」フリースクールに転校することになったと告げられた。椎太の浮かぬ顔が気になった「私」は、帰りに椎太を尾行した。椎太が足を止めたのは、寺の庭園の池の前だった。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合上、本文の上に行数を付けてあります。

本文省略

【森 絵都「ヒカリノタネ」の文章による】

【注】

- 1…不登校の子どもに対し支援を行っている民間施設。
- 2…まったく疑わないで
- 3…表情が暗くなった状態。

問一 傍線の部分㉠㉡の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、その理由として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 椎太に気づかれぬように尾行していたが、池の鯉を他の人から護っている椎太が気になり、声をかけてみようと思ったから。

イ 椎太に気づかれぬように尾行していたが、池にお祈りをしている椎太を見ることが飽き、雰囲気を変えようとしたから。

ウ 椎太に気づかれぬように尾行していたが、椎太が自分に気づかず立ち続けていることに耐えられず、寂しさを覚えたから。

エ 椎太に気づかれぬように尾行していたが、その場で立ち続けて動かない椎太を見ることに疲れ、理由を聞こうとしたから。

問三 7行目から38行目における椎太の説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 鯉のぼりを目の前にして、人間に置き換えた状態を想像し恐怖を感じるとともに、鯉に申し訳なさを感じている。

イ 鯉のぼりを見て、人間の家族のために見せものにされている鯉の心境を想像し本物の鯉への怒りを感じている。

ウ 鯉のぼりを見た後に本物の鯉を見つけ、人間のせいで鯉自身が望まない状態にされていることに驚いている。

エ 鯉のぼりと本物の鯉を比べて、鯉の気持ちに反する扱いをしている人間の行為に納得できないでいる。

問四 傍線の部分②とありますが、「私」にはなぜこのように見えたのですか。五十字以内で説明しなさい。

問五 傍線の部分③とありますが、このときの椎太の心情を六十字以内で説明しなさい。

三、次の古文を読んであとの問いに答えなさい。

ある<sup>ま</sup>呂馬病しけるところに、<sup>ま</sup>獅子王来て、<sup>①</sup>その脈を取り<sup>ま</sup>ころむ。呂馬これを恐ること限りなし。獅子王、<sup>ま</sup>ねんごろのあまりに、その身をあそ<sup>こ</sup>こを撫<sup>な</sup>で<sup>②</sup>まはして、「いづくか痛きぞ」と問へば、呂馬<sup>ま</sup>つつしんでいはく、「獅子王の御手のあたり<sup>そうら</sup>候ふ所は、今まで【A】所も【B】候う。」と、震ひ震ひぞ申しける。

そのごとく、人の思はくをも知らず、<sup>②</sup>ねんごろだてこそうたてけれ。<sup>ま</sup>大切を尽くすといふとも、常に<sup>ま</sup>馴<sup>な</sup>れたる人のことなり。知らぬ人<sup>な</sup>にあまりに礼をするも、かへつて<sup>③</sup>らうぜきとぞ見えける。

【『伊曾保物語』の文章による】

【注】

- 1 呂馬…動物のロバ
- 2 獅子…動物のライオン
- 3 ころむ…試してみる。ここでは、診察してみるという意味。
- 4 ねんごろのあまりに…一生懸命のあまりに。
- 5 つつしんで…用心して。

- 6 大切を尽くす：相手を大事にしてその者のために精一杯働く。
- 7 馴れたる人：慣れ親しんだ人
- 8 らうぜき：無法な荒々しい振る舞い、乱暴な行い。

問一 傍線の部分①②を現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

問二 傍線の部分①とありますが「その脈」とは何の脈を指しますか。答えなさい。

問三 【A】・【B】に入る組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 事なき B 尊く
- イ A かゆき B 痛く
- ウ A 汚き B をかしく
- エ A 寒き B 熱く

問四 傍線の部分②は「親切にすることこそ迷惑なことだ」という意味ですが、第一段落に紹介されたエピソードで考えると、何の、どのような行為を指して述べていますか。五十字以内で説明しなさい。

問五 この話を通して、語り手はどのようなことが大切だと述べていますか。次の文章の空欄Xに当てはまる適当な言葉を二十字以内で書きなさい。

相手のために行動する場合、

X

を判断して動かなければならないということ。